

行事予定表		
1	火	ピヨピヨひろば
2	水	交通安全教室(3歳児以上)
3	木	子育てサロン
4	金	生活写真撮影
9	水	水遊び写真撮影
14	月	希望日保育
15	火	
17	木	子育てサロン
19	土	夏まつり(15:20~)
24	木	誕生会
25	金	避難訓練
28	月	4歳児視覚検査(13:00~)
31	木	公開保育

夏本番！
水遊びや泥遊びなど開放的な活動を取り入れていきます。また、夏祭りごっこを通し、異年齢交流を沢山計画していこうと考えています。



入道雲がもくもくと上がると
紫陽花が色をなくし
ひまわりがカッと咲き出す
もう夏休み
ふたばっ子は真黒に日焼け
夏は貴重な体験の時
緑の木々を渡る涼風
谷川の冷水、満天の星
波の音と青空と白い雲

ぞうグループのお泊まり保育

ぞうグループの子ども達が4月から楽しみにしていたお泊まり保育が先月の14日・15日に実施しました。今年は、「自分のことを自分で言い、友達と協力しあうこと」をテーマとして考え、内容は担任と子ども達が何度も相談しながら、計画を進めていきました。

当日の朝は、きりんグループさん手作りのお守りをリュックに付け、年下の子ども達に「がんばって〜いつてらっしゃい！」と声援を受けながら、いざ出発！6グループに別れ、お肉・花火・野菜・バナナ・カレー粉・朝食食材などをそれぞれが担当し、お肉屋さん、タイラヤ、カスミに向いました。グループ内では、人数確認・財布を持つ・お金を支払う・買い物リストを持つなどの役割があり、自分の役目をしっかりと果たしました。

その後も、自分たちで設置した流しそうめんや、すいか割り・飯盒炊飯・カレー作り等自分たちで用意をして、色々な活動を楽しみました。夜は、この時の為に製作をしたキャンドルを使つてのキャンドルサービスタ先生達からのお楽しみや花火に興じました。一人一人が手持ち花火を楽しみ、最後には打ち上げ花火に「きれい！」「すごい。」と歓声があがりました。その後はシャワーを浴びて、みんなぐっすり夢の中……。お泊まり保育を経験した子ども達の顔は、達成感に満ち溢れていたように感じました。今後も就学に向け、自分の事が自分で出来る様に意識して関わって行こうと考えています。

今月の予定の中から...

●交通安全教室(2日)

・今月から2歳児も交通安全に参加します。今回は、防犯がテーマです。遠くに出掛けたりする機会も増える時期です。ご家庭で

も話をするきっかけになればと思います。

●4歳児視覚検査(28日)

・市役所保健センターの方と茨城メディアセンターの方が見え、4歳児が視力検査を受けます。検査は全員受けて頂くようにお願いします。(目の異常を早期発見する機会になります。)

☆お知らせ・☆お願い

☆保護者会主催の夏祭り



(19日15時20分〜)
・役員の方々や有志の方々のお陰で、着々と夏祭りの準備が進んでおります。有難うございます。

★一部(2・3歳児イベント) 15時20分〜

★二部(4・5歳児イベント) 16時〜

★夜店スタート・16時40分〜18時

※イベントへの参加は子ども達の負担を考え、2歳児以上といたします。(0歳児・

1歳児は自由参加です。)詳しい内容につきましては、後日お知らせを配布します。

〈夏祭り当日土曜保育ご利用の方へ〉

・夏祭り当日の土曜保育は、保育利用時間を7時〜15時とさせて頂きまますので、時間厳守でお迎えをお願いします。

★駐車場、園付近の道路では徐行運転をお願いします。

また、登降園の際、駐車場内は必ずお子さんの手を繋いでください。

★にじぐみ担任の鈴木陽子先生ですが、体調不良の為現在休職しています。体調が回復次第復帰する予定です。

★たいようぐみの佐川絵梨奈先生が入籍をして吉園絵梨奈先生になりました。

「子ども達を大切にしたい思い」

誰しもがこの世に生を受け、大人の愛情を受け成長を補償されている事が当たり前だったはず...

けれど、現在日本の子ども達の貧困率は13.9%(7人に1人)と言われ、中には虐待やネグレクトを受けている子ども達もいたり、本当に心が痛む思いです。子ども達は環境を選べるわけではありません。しかし、裕福だから幸せという訳でもなく、慎ましかでも愛情いっぱい保育つた子どもは健やかに成長するのではないのでしょうか。

特に0歳から2歳位までの子ども達は親や祖父母、先生や周りの大人の愛情を沢山感じ、自分を受け止めてもらえる経験を沢山すること、成長の基礎となります。園生活の中で私達も子ども達のサインを見逃さないように一人一人に寄り添い沢山関わっていこうと思います。そして、愛情の蓄えの沢山ある子ども達は、3歳から6歳の間に遊びのルールや友達との関わりなど、色々な経験を通し、社会生活の基本を学べるようになるので、周りの大人が伝える必要があります。

こうして、保育園生活の6年間で人間として大切な基礎の部分が構築されていきます。こう考えると、保育園は子ども達にとって大切な時間の多くを占めることに重大な責務を感じます。

日々、至らないことが多々ある事と思いますが、保護者の方と共に、子ども達にとって大切なものは何かと言うことを一番に考えながら、今後も活動していこうと考えています。

園長 浅沼 玲子

